

腰痛に内視鏡手術×再生医療、 低侵襲な日帰り手術を提供。

「痛みと再生」をキーワードに掲げ、身近な医療から先端医療までを提供している表参道総合医療クリニックの
田中聡院長に、低侵襲な腰痛に対する日帰り手術、再生医療、そして先進的ながん治療について聞いた。

「痛みと再生」を掲げ、
さまざまな先端医療を提供。

表参道総合医療クリニックは、
2023年3月、東京・表参道に
「痛みと脳・神経後遺症に悩む人
たちをその痛みから解放する」と
いうコンセプトで誕生した。
「適切な治療に出会えないために
痛みと付き合っていくことを余儀
なくされている患者さんが多い」

同クリニックの田中聡院長は、
脳神経外科の専門医として、脊椎
疾患の患者を数多く診てきた実績
のある医師だ。総合病院では、脳
出血や脳腫瘍、くも膜下出血など
の手術を含め、脳神経疾患の診療
に数多く携わり、さまざまな症例
に対する治療経験を重ね研鑽を積
んできた。だが、脳卒中の後遺症
に対して保険診療では適切な治療
法がなく、後遺症に悩む患者を多
数診察する中で再生医療などの先
進的な治療の可能性を追求したい
と感じるようになった。

「進化した医療を安心して選べる、
受けることができる環境をつくり
たいと思うようになったのです」
保険診療に限定せず、進んだ医
療を積極的に取り入れて患者に適
切なオーダーメイド医療を提供し
選択肢を広げる。日本では立ち遅
れているIT化を進めることで、
患者の利便性を高め、効率的な治
療を行う。同クリニックは、従来
の「病院」のイメージにとらわれ
ない、新しいクリニックの形を、



低侵襲な内視鏡下手術であるPEL(脊柱管狭窄症内視鏡下手術)。体を大きく傷つけずに脊椎内部の奥深いところを観察し、高画質なモニターを用いてより安全な手術を行う。局所麻酔で日帰り手術が可能

世界に発信する、はじまりの場所。
でもある。

身体への負担が少ない、
腰痛に対する日帰り手術。

同クリニックで行われる治療は、
患者の負担を軽減することに特化
している。治療の柱は大きく4つ、
「腰の日帰り手術」「再生医療」「脳
卒中の後遺症に対する再生医療」
「最新のがん治療」だ。

治療の柱の一つである「腰の日
帰り手術」は、患者の病気、要望
に応じて「PED」(経皮的内視
鏡下椎間板摘出術)、「PLDD」
(椎間板ヘルニアのレーザー治
療)、「PEL」(脊柱管狭窄症内
視鏡下手術)や「PDR法」(経
皮的椎間板再生治療)など手法を
使い分けている。

PLDDは椎間板ヘルニアに対
するレーザー治療だ。レーザーを
椎間板内の髄核に照射し椎間板を
縮小させ、神経の圧迫を軽減し痛
みを改善する。施術は1時間弱で
完了し、短期間で社会復帰したい
人向けの治療方法といえる。

PEDは椎間板ヘルニアに対し
て行う日帰り内視鏡手術で、腰痛
の原因である椎間板ヘルニアを摘
出する根治的治療法だ。

「当院では局所麻酔での内視鏡手
術で専門性が非常に高い治療法で
あり、確実に治したい人向けです。
内視鏡を入れるための穴(約8mm)
を開けるだけなので、身体への負
担も軽くて済みます」

する幹細胞治療やサイトカインカ
クテル療法は、痛みの治療だけで
なく、動脈硬化や慢性疼痛、認知
機能障害、糖尿病など幅広い疾患
に改善効果が期待されている。

同クリニックは、脳梗塞や脳出
血、くも膜下出血などの脳卒中の
後遺症に対しても幹細胞、サイト
カインカクテル療法を用いた先端
治療を提供している。

サイトカインカクテル療法では、
幹細胞などがつくる成長因子やサ
イトカインがダメージを受けた脳
の組織の修復を促進し、脳血管障
害による運動障害・認知障害の改
善が期待できる。今までは根本的
な回復が困難といわれていた脳卒
中や脊髄損傷の後遺症などに対し、
脳や神経に刺激を与え、幹細胞の
神経細胞再生能力の効果をより高



脳神経外科・腫瘍内科をはじめ幅広く対応。経験豊富な専門
医が確かなエビデンスに基づいた治療を行う

PELは脊柱管狭窄症の低侵襲
日帰り内視鏡下手術だ。従来の術
式では長期入院が必要であり、背
中の筋肉を一部剥がす必要がある
こと、また全身麻酔が必要なこと
などから、内科的な合併症のある
患者には適用できないなど、いく
つかの制約があった。

「当院では小さな切開で済み、局
所麻酔で日帰り手術が可能です。
特に治療中の重篤な病気があり、
全身麻酔での手術が受けられない
高齢の患者さんにとっては利点が
非常に大きいと思います」

PDR法は、損傷した椎間板の
再生治療であり、様々な論文で注
目されている。患者の血液より抽
出した濃縮血小板由来の成長因子
と幹細胞上清液を穿刺針で椎間板
に挿入し、血管造影透視装置を使
って損傷した椎間板に投与する。

いずれの治療も侵襲の少ない術
式だが、同クリニックでは手術に
際して基本的に全身麻酔は用いな
い。PEDやPELのように正確

めることを目的とした、損傷され
た箇所の再構築を目指す方法だ。

**がん治療の新たな可能性、
選択肢を広げるがん遺伝子治療。**

もう一つの診療の柱であるがん診
療では、早期発見のための検査を
はじめ、がん抑制遺伝子を点滴で
投与し、がん細胞の抑制や死滅を
目指すがん遺伝子治療、手術がで
きない腹膜播種や難治性のスキル
ス胃がんなどに対して、抗がん剤
をお腹の中に直接注入する腹腔内
化学療法などの治療法を提供する。
「手術、放射線療法、薬物療法の
標準治療では改善しなかった、治
療が困難とされた患者さんに効果
が期待できる治療があるのです」
がん遺伝子治療は、がん抑制細
胞を点滴投与し、本来身体に備わ

な技術が要求される内視鏡下手術
も、脊椎手術での低侵襲を追求す
る田中院長をはじめ、経験豊富な
脳神経外科、脊椎外科専門医が執
刀することで、例えば高齢者でも
身体への負担が少ない局所麻酔で
の手術を可能にしている。

さらに同クリニックでは、ダメ
ージを受けている神経や組織の修
復を助けるために、内視鏡手術と
再生医療のPRP(多血小板血漿)
療法を組み合わせて、治療後の患
者の早期回復を促している。

「圧迫を取り除くだけでなく、
修復に時間がかかる神経や椎間板
に対して再生医療を取り入れるの
は、「痛みを取り除く」という主目
的から考えても、とても理にかな
った治療法だと思います」

PRP治療は、腰や肩、膝、首
などの関節の痛みやテニス肘などの
炎症といった整形外科分野の症状
の治療にも用いられている。同クリ
ニックは、血液由来のPRP治療だ
けでなく、幹細胞治療にも積極的
に取り組んでいる。

同クリニックでは、幹細胞上清
培養液を点滴するサイトカインカ
クテル療法も行っている。幹細胞
上清液の注入は、レントゲン透視
下で、患部にダイレクトに届くよ
うに行う。治療では、点滴だけ
なく全身に効率よく因子が行き渡
るECCPという医療機器を導入
するなど、効果を高める技術、手
法を積極的に取り入れている。
細胞の自己修復機能をサポート



レーザーを椎間板内の髄核に照射し、椎間板を縮小、神経の
圧迫を軽減することで痛みを改善するPLDD療法

っているがん抑制機構を再度働か
せる治療で、体内にもともと存在
する遺伝子を投与するので、苦痛・
副作用も少ない。抗がん剤治療・
放射線治療の効果が高まることが
期待でき、薬の量や放射線の照射
量を軽減できる可能性もある。

同クリニックでは、がんだけを
ピンポイントに壊す「第5の治療
法」といわれる免疫療法も行う
など、難治性、進行性のがんに侵
された患者の命を救う治療の選択
肢を広げることに注力している。

「医師を志したのは「誰かを助け
る仕事に就きたい」と思ったから
です。患者さんのためにできるこ
とはどんどん増やし、新しい治療
の可能性を提供するのが私の使命
だと思っています」

表参道総合医療クリニックは、
「腰の日帰り手術」「再生医療」「脳
卒中の後遺症に対する再生医療」
「最新のがん治療」を柱に、痛み
に対する総合的な医療を提供し続
けている。



院長
田中聡 Satoshi Tanaka

2010年、大阪医科大学医学部医学科卒業。NTT東日本関東病
院、湘南鎌倉総合病院、稲波脊椎関節病院、森山記念病院などで脳
神経外科医として勤務、研鑽を積む。2023年3月、表参道総合医療
クリニックを開院。日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医。日
本脊椎脊髄病学会認定脊椎脊髄外科専門医。



表参道総合医療クリニック

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-46-16
イル・チエントロ・セレーノ1F
TEL.03-6805-0328
https://www.omotesando-amc.jp/
■ 診療時間：10:00～19:00 ※完全予約制
■ 休診：木曜午後・祝日
■ 診療科目：整形外科・脳神経外科・腫瘍内科・内科
※保険適用外自由診療
PLDD手術費
腰椎:1カ所825,000円(税込)
PED法:1カ所1,540,000円(税込)
PRP-FD治療:膝・肩・手関節:1部位(片側)298,000円(税込)
腹腔内化学療法:1回22万円(税込)